

AMCoR

Asahikawa Medical College Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録 () 平成19年度:96.

当院における貯血前オリエンテーションの現状

向野, 美智代

当院における貯血前オリエンテーションの現状

外来ナースステーション 向野美智代

- 【目的】**当院の自己血採血マニュアルには、貯血予定患者のオリエンテーション（オリ）を行う様定められている。貯血前オリの実施は、医療者側にとっては患者情報を把握でき、患者にとっては採血に対する不安を軽減できると考えられる。当院における貯血前オリの現状について報告する。
- 【方法】**H18年4月からH19年10月までの貯血患者194名に対して、入院・外来別、診療科別オリ実施数を調査した。
- 【結果】**貯血患者194名に対し88名（45%）にオリを実施した。入院貯血患者は102名に対し72名（71%）に実施。外来貯血患者は92名に対し16名（17%）と顕著に低い実施率だった。H19年度のオリ未実施患者40名の内、当日の貯血依頼患者数は26名（65%、外来12名、入院14名）で、入院患者においては入院当日（6名）、退院当日（2名）であった。オリ未実施の残り14名は、主治医から電話などで自宅へ直接、貯血日を連絡された患者であった（すべて外来貯血患者）。
- 【考察とまとめ】**外来患者のオリ実施率が低いことが反映して、貯血患者全体で45%のオリ実施率だった。この理由として1) 自己血採血マニュアルには貯血予定患者のオリを行うことが決められているが周知と徹底がなされていないこと、2) 当院は地方の中核病院であり、遠方より受診する患者が多いこと（当日貯血依頼の外来患者12名中10名は市外在住）、3) 在院日数短縮により入院当日や、検査入院の退院日の貯血依頼になってしまうことがあげられる。当日の貯血依頼にならざるを得ないのは、患者の通院に関する負担を配慮してであるが、安全な自己血採血を実践するには、採血前の説明を十分に行うことが必要と考えられる。オリ実施を周知するとともに、当日貯血依頼患者にはオリ未実施を補う十分な説明と貯血前の患者状態を把握し対処する努力が必要である。